

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

丸山 征夫

**自分に奉仕、
周りに奉仕。**

こんにちは。

一昨日は加茂市での「第四分区 IM」に参加された方、ご苦労様でした。後で数名の方のお話をお願いします。

今日は『ヒマワリ』のことを少し話します。

漢字ではご存知の通り日に向かう葵と書きます。朝、太陽が昇ると向日葵は東を向き、太陽の動きにつれて段々と西へ動いて夜になると聞いていました。と言うことは朝一番に西に向いていた花が一瞬に東方向に向き直すのか、不思議に思っていました。

ネットで調べてみますと、西を向いていた花は夜中に下に向き、朝は東に戻るらしいです。そうでなければ東から西、西から東と回り続けると最後にねじれて折れてしまいます。

ところで、このように太陽が出るとそちらに向いて東から西へと動くのは若い時だけだそうです。種ができる頃になった年寄りの向日葵は東を向いたまま動かなくなるそうです。

これは人間と同じだと思いました。若いうちは勉強の為に人の話を聞いたりしてついていきます。しかし、年寄りになるとそうは行きません。皆、体や考えが固くなります。

太陽が西に移動しても知らん顔して連動しなくなります。なかには東を向いたままで西へ動かない年寄りの向日葵がいたり、人と反対を向いて固まったへそ曲がりも結構多くいるそうです。

ますます、人間と同じです。誰かさんに似ていますね？ 終わります。

出席率

会員51名中32名

先々週の出席率

90.91% (8/22)

先週のメイクアップ

8/30 三條北 R C へ

石山昌宏君 丸山 智君 西潟精一君 太田義人君 吉沢栄一君

9/3 第四分区IM (加茂) へ

馬場信彦君 丸山征夫君 谷 晴夫君 銅冶康之君 広岡豊樹君

星野健司君 木村 譲君 栗山佳大君 名古屋豊君 野崎正明君

太田義人君 大溪秀夫君 齋藤嘉一君 坂井範夫君 佐藤秀夫君

鈴木紈彦君 鈴木 武君 渡邊久晃君

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから一

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



人類に奉仕するロータリー

—2016-17年度国際ロータリーのテーマ—

国際ロータリー会長

第2560地区ガバナー

第4分区ガバナー補佐

会長

幹事

S A A

事務局

ジョンF. ジャーム [アメリカ]

田中政春 [長岡西]

森山一理 [加茂]

丸山征夫

谷 晴夫

木村 譲

〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



谷 晴 夫 幹事

田中ガバナー事務所より「2016-17 年度RI第 2560 地区 地区大会」開催のご案内

○地区大会第1日目 ガバナー補佐、地区委員長、会長・幹事会議 & RI 会長代理歓迎晩餐会

〔日 時〕 2016 年 11 月 5 日（土） 13:00~19:00

〔会 場〕 長岡グランドホテル

〔出席義務者〕 南 RC: 地区諮問委員、地区委員長、会長、幹事

○地区大会第2日目 本会議、記念講演、ロータリーの夕べ

〔日 時〕 2016 年 11 月 6 日（日） 9:30~19:00

〔会 場〕 アオーレ長岡

〔記念講演〕 「地方の再生と日本の将来」 慶応義塾大学 法学部 教授 片山 善博 様

新保ガバナーエレクト事務所より 事務所開設のお知らせ

〔住 所〕 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL 025-222-2561 FAX 025-222-2565

E-mail k.shinbo@rid2560niigata.jp

〔スタッフ〕 ガバナーエレクト: 新保 清久 地区幹事: 丹治 芳子 地区財務委員: 伊藤 秀夫

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 9 月 5 日 9,000 円
今年度累計 150,000 円 ~

丸山（征）君 一昨日の加茂に於ての「IM」に参加された方々、ご苦労様でした。来年度は我が南クラブが担当です。野崎さん、大溪さん、加茂に負けずにIMを計画・実行、期待しています。

谷 君 先週の土曜日、暑い中「IM」の参加ありがとうございました。

渡邊（久）君 一昨日の「IM」に参加しました。いろいろ勉強してきました。

大溪君、坂井君、銅冶君、
西巻君、渡邊（光）君

BOXに協力いたします。

佐藤（秀）君 ご協力ありがとうございました。

クラブフォーラム

I M 報告会



第四分區 INTERCITY MEETING

テーマ 「ロータリーと地域の活性化」— サブテーマ『観光と職業奉仕について』—

日時: 2016 年 9 月 3 日（土） 13:00~18:30

会場: 新潟経営大学 大講義室・食堂

ホストクラブ: 加茂ロータリークラブ

フォーラム | 基調講演

「新潟経営大学、観光経営学部開設に当たって」

新潟経営大学 渡辺 保学長

新潟経営大学 イワン・ツェリッシュ観光経営学部長

パネル
ディスカッション

「おらが町の観光PR」観光と職業奉仕について

発表: 三条、加茂、分水、三条北、巻、田上あじさいRC

タイムスケジュール | 13:00 受付 14:00 セレモニー
15:00 フォーラム 基調講演、パネルディスカッション
講評（中條耕二PG）

次期 I M 開催クラブ挨拶（丸山征夫三条南RC会長）

17:00 懇親会 乾杯（馬場信彦PG） アトラクション “ふた色のリボン”

18:30 手に手つないで 閉会の挨拶

PROGRAM





渡辺 保 新潟経営大学学長

1948 年糸魚川市出身

- ・新潟大学院博士後期課程修了（学術博士）
- ・新潟経営大学 2005 年教授 2007 年経営情報学部長 2011 年より学長
- ・専門領域：スポーツ経営学系
- ・最新著書「女子大生が立ち上げたプロスポーツのビジネス戦略ストーリー」（日刊スポーツ出版社）



イワン・ツェリッシュェフ 新潟経営大学観光経営学部長

1956 年 モスクワ生まれ

1979 年 モスクワ大学アジア・アフリカ学部卒業 経済博士

1998 年 新潟経営大学教授

2016 年より観光学部部長

フランス通信、CNBCTV、UX 新潟 21TV コメンテーター

ケンブリッジ大学プログラムのスピーカー

著書 300 冊以上



次期 IM 開催クラブ挨拶 ……三条南 丸山征夫会長

本日は、加茂クラブ主催で素晴らしい IM となりました。我がクラブとしては本日の IM をよく勉強させていただいて、加茂クラブに負けずとも劣らない IM にできたら良いなと思っております。

ご存知でしょうが、三条には RC が 4 つあります。古い順から三条クラブ、南クラブ、北クラブ、そして東クラブです。加茂には加茂山、栗ヶ岳などがありますが、三条・下田地区には守門岳、番屋山、光明山などがあります。加茂の加茂川、仙見川に対して、三条は信濃川と五十嵐川、他にも刈谷田川、中之口川など沢山あります。他には大きな寺院として法華宗総本山本成寺、浄土真宗東本願寺三条別院があります。飲み屋街として有名な本寺小路もあります。今は実際の競馬競技は無くなりましたが、競馬場が場外馬券売り場として残っています。のむ、うつ、かう、が好きな方だけでなく、大勢のご参加をお待ちいたします。

三条男に加茂女か「構うな」か分かりませんが三条には悪い男はそんなにいません。どうぞ安心してお越し下さい。有難うございました。

野崎 正明 会長エレクト



先ず、12 時 50 分にバスにて市役所前を出発し、13 時 15 分頃には会場であります新潟経営大学に到着いたしました。IM 開催の案内が 13 時登録、14 時開会でありましたので、40～50 分間も会場で待機、待つという形になってしまいました。

当日の実参加人数が約 170～180 人ということでありますので、登録から開始まで、30 分もしくは 40 分ほどあれば充分に対応できると考えておりますので、次年度はこの辺の案内方法も一考する必要ありと判断しております。

プログラムは、セレモニー、フォーラム、そして懇親パーティの三部構成になっておりましたが、セレモニーの IM 実行委員長とガバナー補佐の挨拶が各々 10 分を超える長いもので、今回の事業のコンセプトが逆に伝わりにくかったように思われます。挨拶時間は、5 分以内で充分ではないかと感じたところであります。

今回のメインでありますフォーラムでは、新潟経営大学の渡辺学長、そして観光経営学部長のイワン教授より基調講演がありましたが、特にイワン教授の講演はわかりやすく、力の入った有意義な内容であったと思います。その後のパネルディスカッションもユーモアを混ぜながらのキャッチボールで、楽しい雰囲気の中で進められ、良かったと思っております。最後の懇親パーティでは楽しく過ごさせていただきました。

次年度 IM は当クラブが担当となります。佐藤嘉男ガバナー補佐、大溪秀夫実行委員長さんを中心に、クラブの皆様全員で盛り上げていただきたいと思います。来年はよろしくお願いいたします。

大溪 秀夫 会員（次年度 IM 実行委員長）



9月3日、加茂ロータリークラブがホストクラブとして主催する、IM が、加茂の新潟経営大学を会場として開かれました。

第四分区 11 クラブが、総勢約 190 名が参加して、友情と親睦を深めました。

セレモニーに引き続いて、フォーラムに入りました。テーマは「ロータリーと地域の活性化」、サブテーマは「観光と職業奉仕について」でありました。

二部構成になっており、まず、経営大学の学長と観光系学部長のお二人の基調講演がありました。「観光経営学部の開設にあたって」と題してお話になりました。お話の主旨は“観光は産業になる”ということだと思いました。

その後、6 クラブ（三条、加茂、分水、三条北、巻、田上あじさい）の代表がパネルディスカッションとして「おらが町の観光 PR」（観光と職業奉仕について）と題して各々発表されました。

三条 RC	国道 289 号線、八十里越について
加茂 RC	小京都について（全国に 40 あるそうです）
分水 RC	カヌー競技の後援について
三条北 RC	ホテル業について
巻 RC	北国街道（旧庄屋、佐藤家）について
田上あじさい RC	温泉、竹の子、国道 403 号線について

その後、懇親パーティが経営大学の学生食堂で行われました。学食は新鮮に感じました。

今回の IM に参加し、来年は三条南がホストクラブになることを実感して帰路に着きました。

銅冶 康之 会員



Intercity Meeting に参加してきましたのでその報告をいたします。

会場は、加茂市にある新潟経営大学、午後 2 時より三浦伸一 IM 実行委員長の開会挨拶にて始まりました。国歌独唱、ロータリーソング、地区役員、参加クラブ紹介などがあり、2 時 45 分より基調講演が行われました。演題は「新潟経営大学、観光学部開設に当たって」というものでした。

まず、渡辺 保学長が大学の成り立ちを説明されました。加茂市において、大正 9 年、加茂朝学校が始められ、昭和 23 年には新制高等学校となり、加茂暁星高等学校、新潟中央短期大学、新潟中央福祉専門学校を擁する加茂暁星学園として発展してきたところ、地元住民の大学設立の要望が高まり、県央 18 市町村会議の決議を経て、平成 6 年 4 月に開学となったそうです。

最初、経営情報学部、経営情報学科の一学部、一学科で始めたものが、17 年 4 月経営情報学部、スポーツマネージメント学科が設置され、28 年 4 月に観光経営学部 観光経営学科が開設され、現在 2 学部、3 学科の大学になったとのことのでありました。県内人と県外人の比率は 2 対 8 で県外人が多く、そのほとんどが県内に就職していて県内の人口増加の役にたっているとのことのでありました。また、男女比は、経営情報学部では 8 対 2 と男性が多く、観光経営学部では 5 対 5 と半々とのことです。

続いて、ロシア人のイワン・ツェリッシェフ観光経営学部長の講演が始まりましたが、ロシア人と聞いて、私は悪いイメージしか持っていないので、もしかしてロシアのスパイかもしれないと思いつつ聞いていました。

1 年間で世界を旅行する人は 12 億人であり、フランスが 8,000 万人の旅行客で第 1 位、日本は 2,000 万人で伸び率が高く、2020 年には 4,000 万人、2030 年には 6,000 万人になると考えられているそうです。

観光は、肉体的にも、金銭的にも、精神的にも良い状態のときにするものなので、物の良し悪しの判断が鋭く、良いものを観光客に提供しなければ客は呼べない。その点、新潟県は、冬はスキー、夏は海水浴が出来る、また、米、酒、朱鷺、温泉などの資源で充分に客を呼べるとのこと。そして、観光客が多数来ることにより、宿泊施設が増え、食事としての農業が盛んになり、土産物などの産業も発展し、その他全ての産業が活性化される。そこで必要なのは、観光客の受け皿となる、英語、中国語、韓国語、ロシア語の達者な人を数多く育て、その対応をすることです。現在、補修授業を多く行い、英語などの外国語のネイティブスピーカーを育成しているそうです。

また、今年の授業の試みとして、バスツアーを行ったとのことでした。弥彦、寺泊、分水、三条のスワダ製作

所の4ヶ所を回り、現地で、弥彦なら弥彦神社・弥彦競輪、寺泊ならアメ横、分水なら分水の歴史、スワダ製作所であればその工場で、現地の人に説明を聞き、大学に戻り、さらなる発展のために、次のそれぞれの課題を考え、推進し、観光としての新潟をつくるという授業をされたとの話で時間となりました。

次に「おらが町の観光PR」というテーマのもとでパネルディスカッションが行われ、続いて次期 IM 開催クラブ挨拶として、我が三条南 RC 丸山征夫会長が挨拶され、懇親パーティへと移りました。

太田 義人 会員



今回がロータリークラブに入会してから初めての IM 参加となりました。11クラブから約190名のロータリアンが参加した本会は、ロータリークラブにとって重要なものであると感じました。

IM においては、「ロータリーと地域の活性化」をテーマにして、観光と職業奉仕などの講演やパネルディスカッションが行われました。観光と職業がどのように関連するか、非常に興味がありました。講演を行った、イワン観光経営学部長はロシアの方ですが、日本語が堪能で、聞き手である私も引き込まれる、ユニークたっぷりでさらに観光と事業が密接な関係にある内容をお話くださいました。

また、パネルディスカッションでは、各地域のロータリークラブの代表者が、観光と事業に関して討論され、普段身近にある地域の観光資源を再認識することができました。

来年度は、当クラブで IM が開催されるので、今回経験したことを活かし、盛大な IM を構築したいと考えております。

栗山 佳大 会員



谷幹事より声をかけていただき、初めて IM に参加させてもらったのですが、先ず「IM とはなんぞや？」という状態でした。調べてみたところ IM は INTERCITY MEETING の略で都市間の会議というような意味合いなのだと知りました。

テーマは「ロータリーと地域の活性化」、サブテーマ「観光と職業奉仕について」、会場は新潟経営大学の大講義室で出席者は全体で190名ということでした。

セレモニー後の基調講演では、渡辺 保学長の大学開校からの変遷とこれからの展望のお話をいただき、イワン・ツェリッシュ観光経営学部長からは今年4月に出来たばかりの観光経営学部のお話を世界経済の実情を交えながらエネルギッシュにお話いただきました。

現在、日本の海外からの観光者数は、世界で20位ほどですが、伸び率は1位なのだそうです。また、国内に目を移すと新潟県の延べ宿泊者数は全国で25位ですが、伸び率は5位で、これからも観光客を呼び込める可能性を秘めています。夏は海水浴、冬はスキーが楽しめる。美味しいお米やお酒など、住んでいるものにとっては当たり前のことや「そんつあらもん」と思っているものが外から見ると魅力的だったりします。ここからそれらを TPO にあわせて海外からの観光客にパッケージングやコーディネートして提案できる人材に育てていきたいということでした。

そして、懇親パーティ会場が学内の学食、というなかなかできない貴重な経験もさせていただきました。

来年は当クラブがホストクラブとのことで、それに向けて多少なりとも雰囲気を感じられて良かったと思います。

加茂ロータリークラブの木戸会長のお話の中で、「素晴らしい話を聞いたと思ったら盛大に拍手をしましょう。周囲が元気でポジティブな雰囲気になり、さらに血行もよくなって一石二鳥です。」というのがありました。当日は風邪気味だったのですが、拍手をたくさんしたおかげか体調もだいぶよくなりました。

以上です。ありがとうございました。

懇親パーティ





IM INTERCITY MEETING

近隣都市数クラブが集まって開かれるロータリーの会合。五大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討する。クラブ会員全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕理念を勉強するために開催される。決議や決定はない。IMの出席はメイクアップとなる。

2560 地区では、分区ごとに開催。分区内クラブの創立順にガバナー補佐が選出され、ガバナー補佐クラブがIMホストクラブを務める。

第4 分区では原則、三條・燕・加茂・三條南・分水・見附・吉田・三條北・巻・田上あじさい・三條東 の順でガバナー補佐選出、IMが開催されている。



創立 50 周年に向け、歴代会長を主要目標（テーマ）やエピソード とともにご紹介する新コーナーです。

薬

ひこばえ

HISTORY OF SANJO SOUTH RC

薬とは、樹木の切り株や根元から生えてくる若芽のこと

豊島 豊

第九代会長

手に手、輪に輪

創立 10 周年記念誌「10 年の歩み」より



1968 年 6 月 3 日入会
職業分類：化学薬品化工
勤務先：(株)和光化学
代表取締役

「手に手」「輪に輪」会員同志、友情の手を暖かく握り合って、ロータリーの原点に帰り「奉仕」と「友情」の楽しい例会を目標に歩み始めて一年、その間新しい仲間が 5 名加わりましたが、また旧い仲間も健康の具合や何かで、4 名も退会され、誠に残念でした。

併し、この一年間は、当クラブ 10 周年を目の前に事前準備や、その一つの事業としての台湾の花蓮クラブとの姉妹提携の準備や、親クラブの三條ロータリークラブ 20 周年記念行事の参加、地元青年会議所の 10 周年記念行事、また連合年次大会には国鉄のストの為、自動車で 4 名で馳せ参じたり、三條での ICGF に参加協力等々、その上スタートと同時に例会場の変更や、事務の人の交替やらと、誠ににぎにぎしい一年でしたが、幹事始め会員皆様の友情と支援に依り、無事務めさせていただき、今更ながら「手に手」「輪に輪」をかみしめた次第です。

本当にありがとうございました。



三條南ロータリークラブ週報

2016. 9. 5 No.2213 No.8